



2024年8月期

# 決算説明資料



株式会社エッチ・ケー・エス

東証スタンダード  
証券コード：7219

1. 当社紹介
2. 2024年8月期 連結決算概況
3. 連結決算の概要
4. 連結売上実績、および営業利益の推移
5. 連結利益の推移
6. 対前期比 連結経常利益の増減要因
7. 主要な販管費科目の増減
8. 貸借対照表の概要
9. 株価、配当性向、株主資本コスト等の推移
10. 2024年8月期のトピックス
11. 2025年8月期 経営目標

# 1. 当社紹介

## 経営理念

感性に訴える  
こだわりのもの造りを通じて  
お客様のライフスタイルを  
より個性豊かなものに演出する事に  
挑戦し続ける。

## 経営方針

1. お客様の立場で行動する
2. 全ての品質を向上する
3. 世界的視野で行動する
4. 市場は自ら創造する
5. 環境との調和を図る

## 行動方針

1. プロ意識を持とう！  
今の自分の仕事レベルに自信が持てるか  
今やっている仕事でお客様が満足できるか  
常に目標意識を持って前向きに行動しよう！  
常に競争意識を持って自分のレベルを高めていこう！
2. 情報を共有化しよう！  
良い商品を創るためには会社の連携が必要  
自らの役割・責任を明確にし、良い商品を作るために  
コミュニケーションを活発にしよう！
3. 魅力ある会社にしよう！  
お客様の満足度は、良い商品、良いサービスから生まれ、  
良い商品、良いサービスは社員の満足度から生まれる。  
会社の将来像を自分たちで造りあげ、  
自ら行動を起こし魅力ある会社にしよう！

会社名 **株式会社エッチ・ケー・エス**

本社所在地 **静岡県富士宮市上井出2266番地**

設立 **1973年10月3日**

資本金 **878百万円**

代表者 **代表取締役社長 水口 大輔**

上場証券取引所 **東京証券取引所 スタンダード市場  
(証券コード 7219)**

従業員数 **384名(連結)  
(外、平均臨時雇用者数 38名)**

主な事業内容 **自動車部品の製造、販売**

主な国内子会社 **日生工業株式会社  
株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリー**

主な海外子会社 **HKS USA, INC.、HKS EUROPE LIMITED、  
HKS-IT Co., Ltd.  
艾驰楷时(上海)汽车科技有限公司(HKS上海)**

# 1. 当社紹介(事業の紹介)



## オートアフター マーケット事業

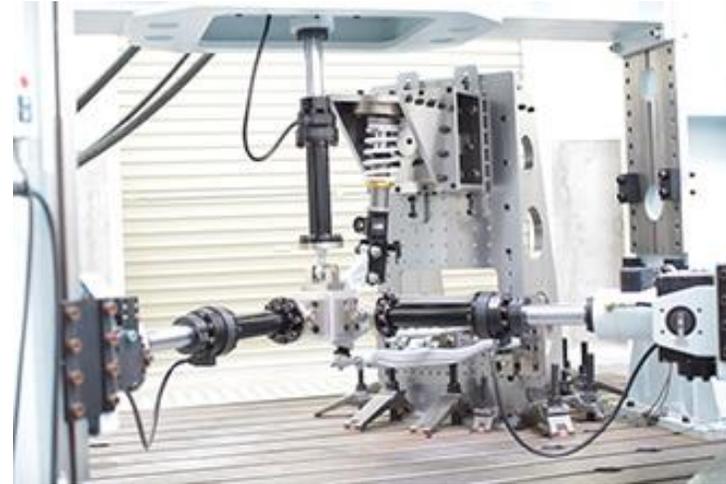
トータルバランスチューニング

アフターマーケット向けのチューニングのパイオニア企業として、事業内容は多岐にわたります。オリジナルマフラーやサスペンション、電子制御部品やエンジンパーツの設計・開発・製造などをはじめ、とりわけエンジン開発で培ったノウハウと実績が私たちの事業領域をさらに押し広げています。それは大排気量エンジン搭載の高級車モデルのチューニングをねらうスーパーチャージャーの開発であり、個性溢れる大人のチューニングを視野に入れた取り組みです。エンジニアの発想で常にいちばん新しいものを考え、カタチにするエッチ・ケー・エス。クルマの進化を真摯に見つめ、常に最高のドライビングパフォーマンスを引き出し、お客様の喜びを極大化します。



## エキゾーストパーツ・サスペンション・過給器他 OEM事業、機械加工受託事業

ISO9001 認証取得、品質に基づいたモノづくり



自動車用アフターマーケットのチューニングで培われた技術を生かし、主要自動車メーカー様などへの部品のOEM供給を行っております。マフラーの自動車メーカー様での純正採用。電子制御部品の採用、スーパーチャージャー・ターボチャージャーの純正採用など、各分野でのアフターで培った技術が自動車メーカー様をはじめ、自動車に限らず、マリッジット用のスーパーチャージャー等にも採用されております。HKSでは自社での研究、開発、自社生産設備を有し、ISO9001 認証取得済みの工場での品質に基づいたモノづくりを行い、各種メーカー様のニーズにお応えいたします。

## 主要なオートアフターマーケットパーツ



マフラー商材  
(Super Turbo Muffler Ti)



サスペンション商材  
(HIPERMAX S)



ターボ・冷却商材  
(DCT COOLER KIT)



エンジン商材  
(Capacity Upgrade Kit)



用品系商材  
(Carbon Engine Cover)



電子系商材  
(EVC-S2)

# 1. 当社紹介(事業の紹介)

## IoT事業

IoT車載通信機的设计、開発、製造、販売事業

HKS IoTコネクティッドサービスを、専門ノウハウをもって構築したIoT車載器HBASシリーズにて展開しています。  
 HBASシリーズには各種センサが搭載されています。搭載の各センサで車の位置や速度の変化、急加速の回数、車の傾き等を検出します。ドライブレコーダモデルでは、360°カメラからの映像を画像処理し、事故等の衝撃時の映像に加え、進行方向からの飛び出し、ドライバーの「ながら運転」などの注目すべき映像のみを抽出可能です。  
 これらの情報や映像は、LTE通信で直接クラウドサーバーやスマートフォン等にデータを送信するので、SDカードの抜き差しが煩わしさがありません。  
 また、Option Adapterを使用すれば、通信機能を持たない様々なデバイスと繋げることができますので、IoTデバイスとしてご使用頂けます。



## 研究開発分野



### 排気ガスを利用した発電機 HKS TURBO GENERATOR

エンジンでの燃焼後、そのまま捨てられる排気ガスの熱エネルギー(排気損失)を電気エネルギーに転換し、回生利用することで内燃機関の熱効率を高める装置を開発しています。

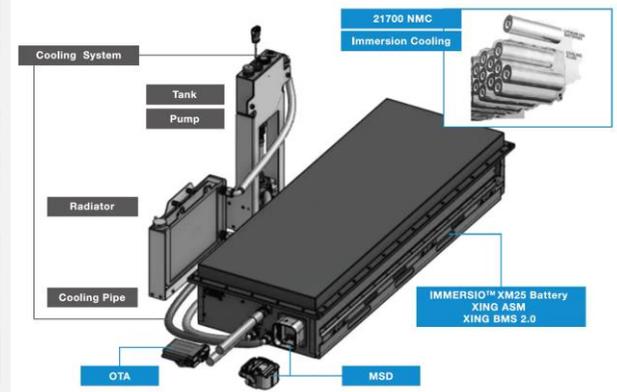
### バッテリー事業分野 EVトラック向け 交換式バッテリーパック

環境省委託事業「バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組合せによるセクターカップリング実証事業」用交換式バッテリーパックに参画し、開発を進めています。



### バッテリー事業分野 EV用 液浸冷却バッテリー

液浸冷却バッテリーパックの開発を、協業関係にある台湾のXING Mobility社と進めています。



### 置き去り防止装置「MAMORU」



### 当期の概況

当社グループが主とするアフターマーケットをとりまく環境は、アフターコロナによる消費行動の多様化で、特に海外市場におけるユーザーからの引き合いが減少。現地代理店でも、それに合わせた在庫調整の動きがみられ、コロナ禍の巣ごもり需要で生まれた市場の追い風は、徐々に平常化しつつある。また、当社の主要ターゲットであるスポーツタイプ車両にて、新型車の納期遅延や受注停止が発生し、これに連動した新規商材の売れ行きにも影響が見受けられる。

これらの市場環境をふまえ、当社はブランド力の強化に努めるとともに、スポーツタイプ車両向け新商材の開発スピードをさらに高め、市場投入のタイミングを最適化することでお客様とのつながりを深め、顧客ニーズに即した新商材の企画・開発・販売を推進した。しかし、海外市場の需要落ち込みの影響を完全には補えず、売上高は前期を下回る結果となった。

### 優先的に対処すべき課題

消費行動の多様化にともなう市場への追い風の平常化に加え、原材料高やエネルギーコスト、人的コストの上昇等もあいまって、経営環境はますます厳しさを増している。このような環境下においては、お客様の需要をいち早くとらえ、その需要に適した商材をタイムリーに市場に提案することで、売上の機会を最大化し、収益性を高めることが重要となる。

当社では、お客様の需要にいち早くこたえるため、製・販・技一貫体制をさらに深化させるとともに、お客様と直に触れ合う機会を増やし、お客様のニーズを深掘りして体験・体感に訴えるものづくりへとつなげていくことで、需要に即した新規商材の企画・開発・提案に取り組んでいく。また、新規商材立ち上げ時のスムーズな製造・在庫化で、欠品の発生による機会損失を抑えるとともに、需要予測の精度向上や、社内協業体制の強化などの取り組みも進める。加えて、売上の裾野拡大のため、スポーツカー向けにとどまらず、RVやオフロード車両等にむけた商材の展開や、代理店の新設等による新しい国や地域への販路開拓等をはかる。さらには、当社の企画力・開発力や、充実した研究設備等、当社の強みを活かせる開発受託事業の分野の拡充にも、ますます力を入れていく。

### 売上の状況

当社グループが主とするアフターマーケット事業では、国内市場で前期比増収を確保したものの、海外市場向け、特に当社最大の海外マーケットである米国市場を中心に、実需の減少と現地代理店の在庫調整による引き合いの減少から売上を落とした。

また、アフターマーケット以外の分野では、コロナ禍の影響が薄まったことによる、委託企業からの製造受託売上や開発受託売上の増加はあったものの、ガソリンとガス燃料とを併用させるBi-Fuel事業の事業縮小による影響があったこと等から、こちらも売上を落とし、売上全体では前期比2.6%減の9,004百万円にとどまった。

### 利益の状況

円安の進行により、外貨建て売上高の円換算値での増加が売上総利益を押し上げた部分はありませんでしたが、物価高による原材料や消耗品等の仕入コスト増加に加え、賃上げの影響等もあり、売上総利益率は40.6%と、前期を0.4ポイント下回った。

販売費及び一般管理費は、主に北米向けの売上の減少や運賃相場下落で、販売運送費が前期比で大きく減少したが、昇給にともなう人件費の増加や、販促活動の推進にともなう広告宣伝費の増加、設備投資にともなう減価償却費の増加等により、販売費及び一般管理費全体では、前期比89百万円の増加となり、営業利益は前期比34.5%減の418百万円となった。

また、経常利益は前期比34.3%減の476百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比22.9%減の347百万円となった。親会社株主に帰属する当期純利益の減益幅が、営業利益や経常利益の減益幅を下回った要因には、特別損益において製品補償引当金の戻入益が発生したことや、前期にて特別損失に計上した製品補償費がなくなったこと、および車両等の売却を通じ、固定資産売却益の計上があったこと等があげられる。

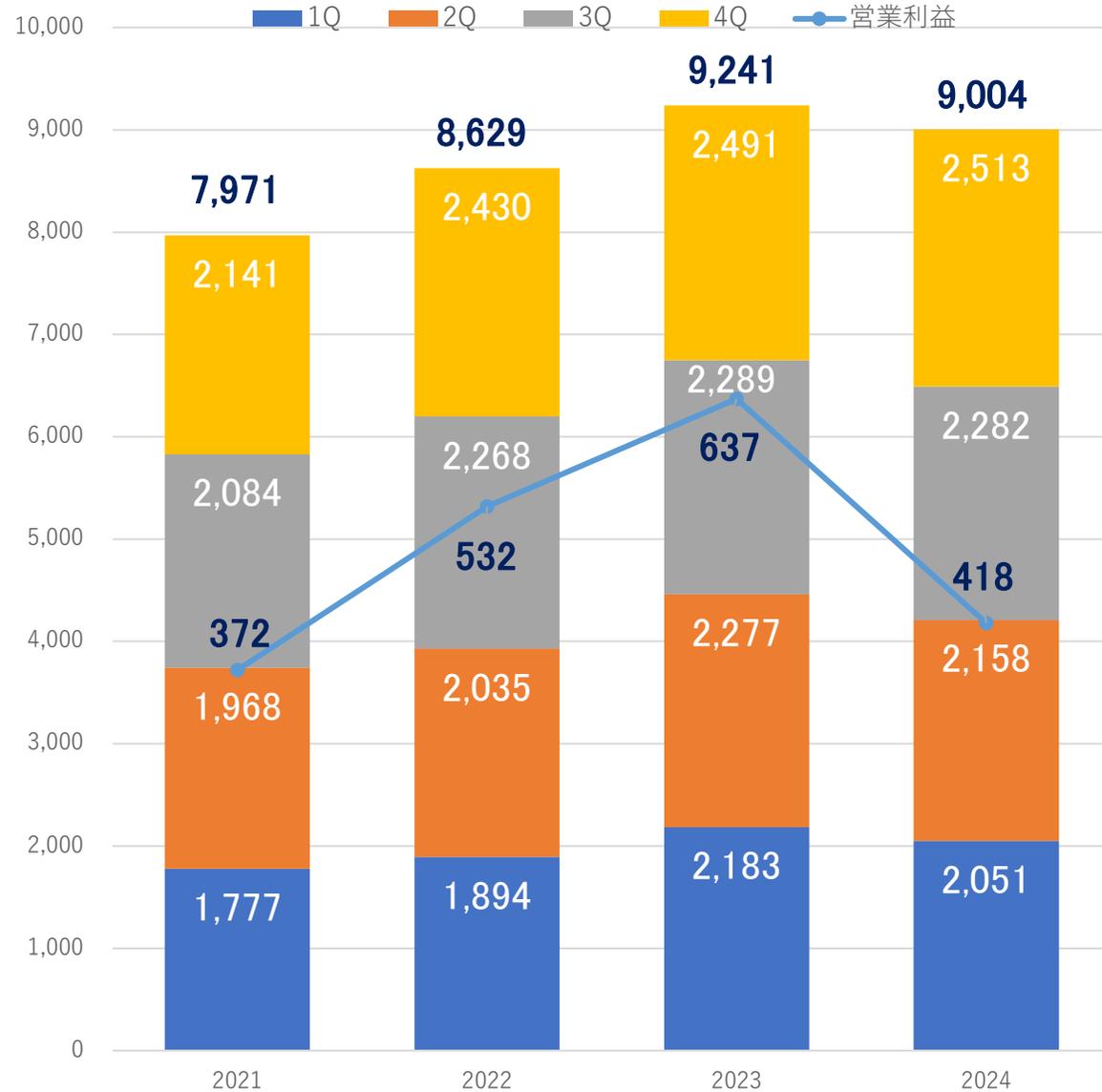
(単位:百万円)

### 3. 連結決算の概要 (単位:百万円)

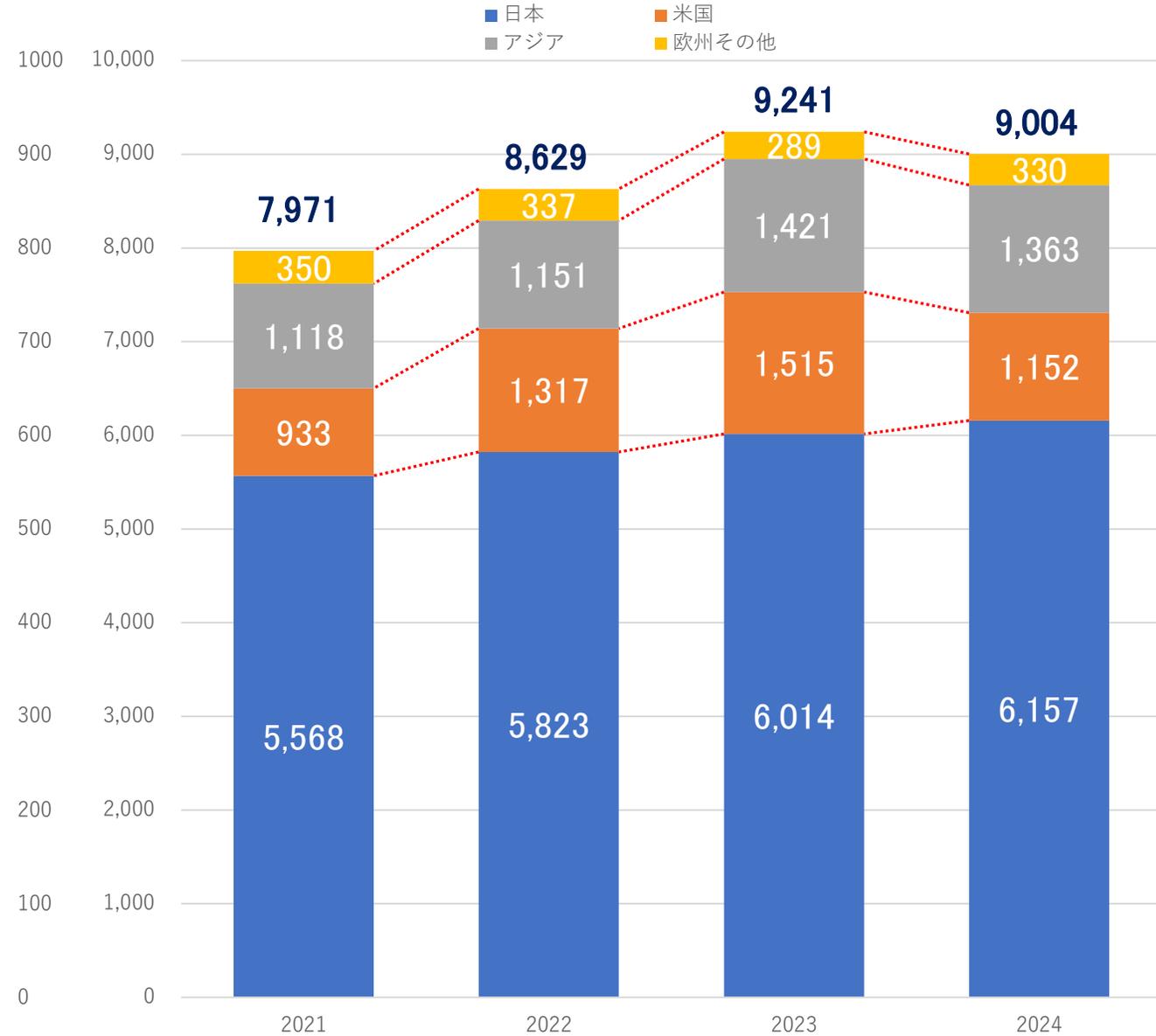
	2021年8月期		2022年8月期		2023年8月期		2024年8月期		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	7,971	100.0%	8,629	100.0%	9,241	100.0%	9,004	100.0%	97.4%
売上総利益	3,114	39.1%	3,496	40.5%	3,781	40.9%	3,651	40.6%	96.6%
販売費及び一般管理費	2,741	34.4%	2,963	34.3%	3,144	34.0%	3,233	35.9%	102.8%
営業利益	372	4.7%	532	6.2%	637	6.9%	418	4.6%	65.5%
経常利益	455	5.7%	720	8.3%	725	7.9%	476	5.3%	65.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	352	4.4%	496	5.7%	451	4.9%	347	3.9%	77.1%

# 4. 連結売上実績、および営業利益の推移

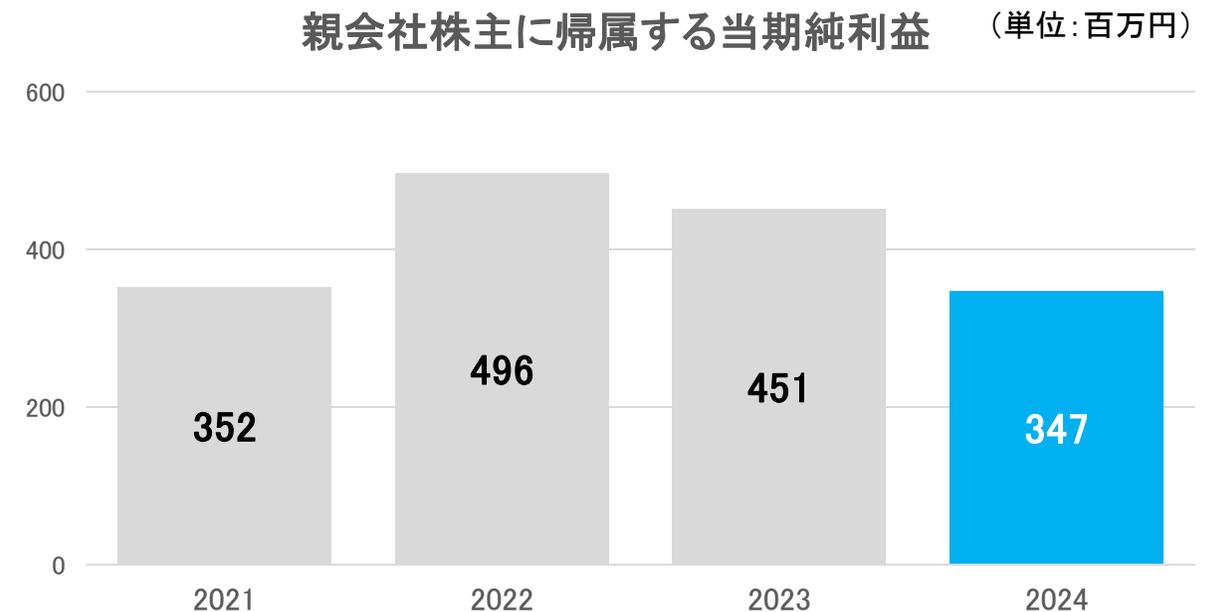
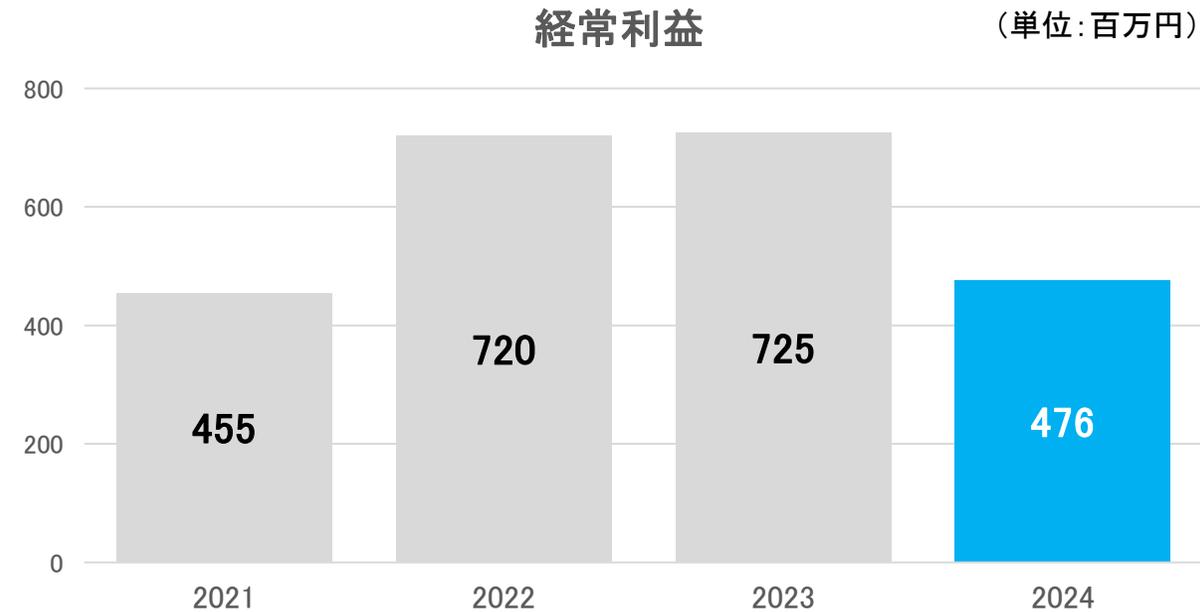
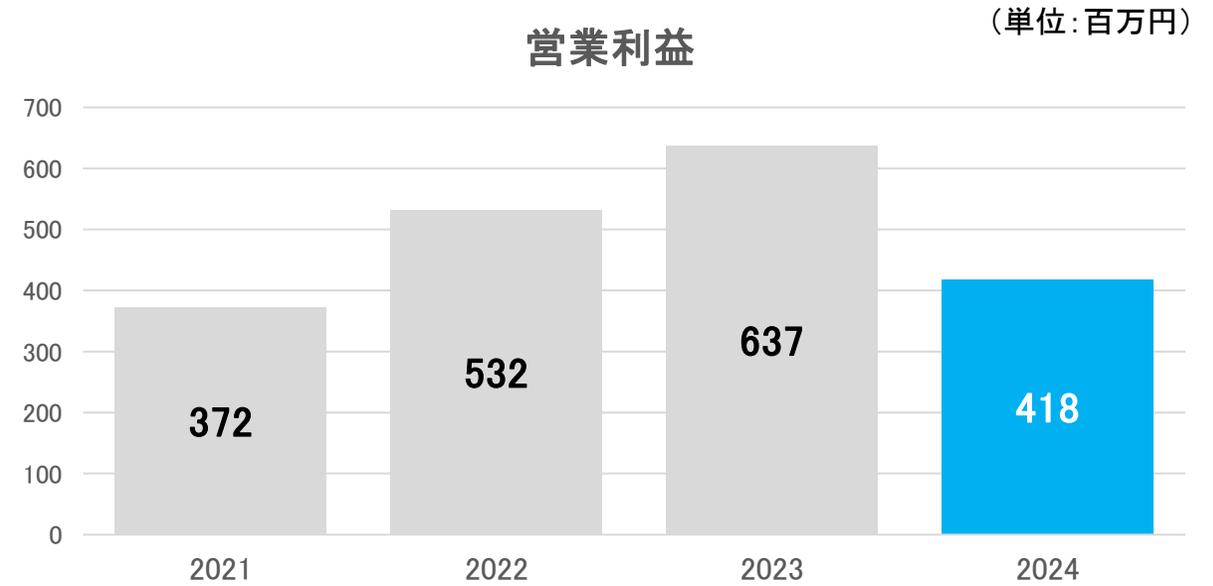
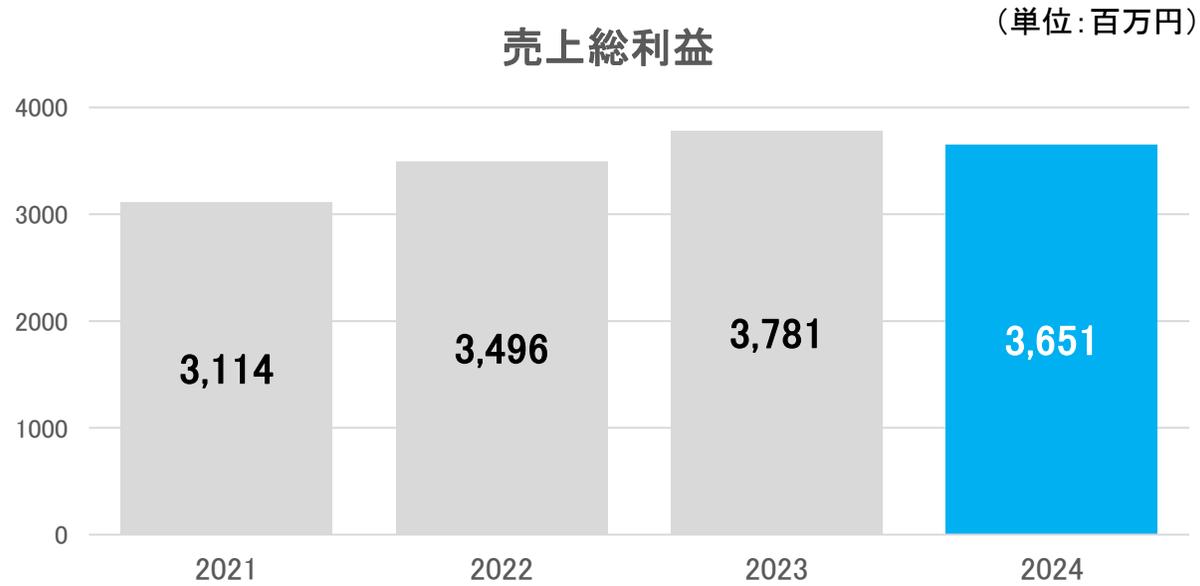
## 四半期業績の推移（単位：百万円）



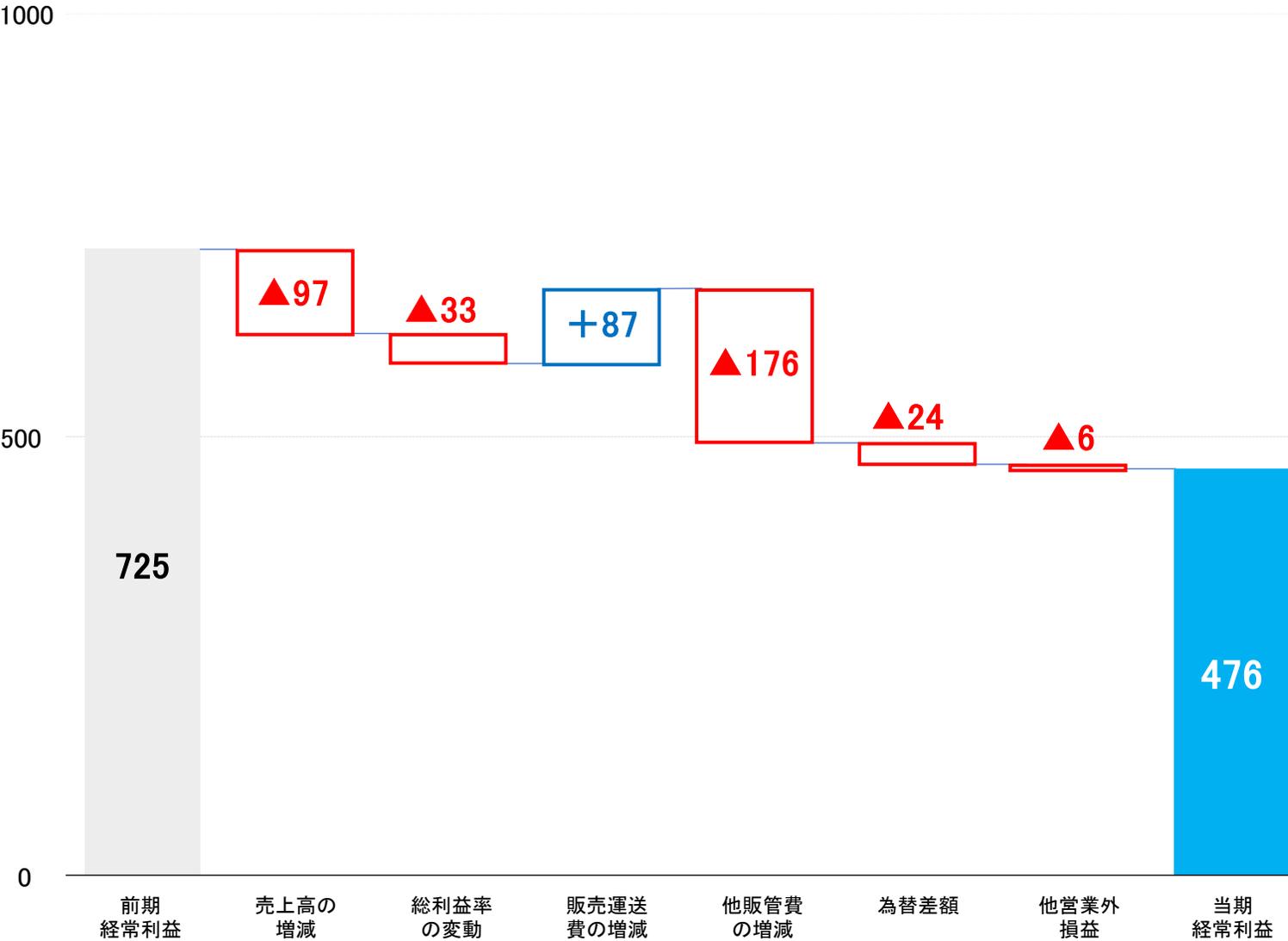
## 地域別売上実績の推移（単位：百万円）



## 5. 連結利益の推移（単位：百万円）



## 6. 対前期比 連結経常利益の増減要因（単位：百万円）



（単位：百万円）

経常利益変動要因	影響額 (百万)	備考
売上高の増加	▲ 97	米国を中心とする海外市場で、消費の多様化により、巣ごもり消費の恩恵が平準化
売上総利益率の変動	▲ 33	原材料やエネルギーコストの上昇に加え、労務費を主とした経費の増加が響く
販売運送費の増減	+87	輸出量の減少と、運賃相場の下落によるもの
その他販管費の増減	▲ 176	主な増減要因については次頁を参照
為替差額	▲ 24	前年度と当年度の差額
その他営業外損益	▲ 6	前年度と当年度の差額

(単位：百万円)

## 7. 主要な販管費科目の増減 (単位：百万円)

	2023/8期	2024/8期	増減額	主な要因
販売運送費	273	186	▲87	消費行動の変化に加え、米国向けの便が滞ったこと等による輸出量の減少
人件費	1,077	1,140	+63	昇給等にもなう人件費増
広告宣伝費	202	230	+28	主に海外販路拡充のため、中国、北米でイベントへの参加等を実施
減価償却費	256	287	+31	開発業務拡充に向け、中国で開発車両等を購入、国の特例による即時償却を実施
その他	1,333	1,390	+57	主にコロナ明けの出張増加等による旅費交通費の増加や、租税公課等の増加による
合計	3,144	3,233	+89	販売費は、販売運送費を中心に64百万円の減 人件費は、63百万円の増 一般管理費は、減価償却費、旅費交通費を中心に90百万円の増

## 8. 貸借対照表の概要 (単位：百万円)

	資産		備考
	2023/8期末	2024/8期末	
現預金	1,994	2,122	投資有価証券満期償還による増加 棚卸資産の購入による減少等
売上債権	1,099	1,196	期末銀行休業日による回収月ずれ
他流動資産	3,202	3,594	棚卸資産+173、有価証券+127
有形固定資産	5,168	5,283	建設仮勘定+93(機械 前渡金他) 機械装置及び運搬具(純額)+55
無形固定資産	153	109	
投資等	1,727	1,035	投資有価証券△667
繰延資産	-	-	
資産合計	13,345	13,340	

	負債・純資産		備考
	2023/8期末	2024/8期末	
仕入債務	942	540	手形、でんさい等の支払サイト短縮
短期借入金	480	348	
他流動負債	1,020	1,196	
長期借入金	386	410	
他固定負債	524	526	
負債合計	3,355	3,022	
純資産合計	9,990	10,318	未処分利益+234 為替換算調整勘定+72
負債純資産合計	13,345	13,340	

## 9. 株価・配当性向・株主資本コスト等の推移

	2022年8月期 金額、指数等	2023年8月期 金額、指数等	2024年8月期 金額、指数等
一株当たり当期純利益(円)	350.65	318.78	245.77
一株当たり純資産額(円)	6,717.44	7,040.05	7,292.61
一株当たり配当金(円)	50.00	80.00	65.00
株価(円)	2,017	2,387	2,066
配当利回り(%)	2.5	3.4	3.1
配当性向(%)	14.3	25.1	※1 26.4
PBR(倍)	0.30	0.34	0.28
ROE(%)	5.2	4.5	3.4
株主資本コスト(%)	5.9	5.7	6.3

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」(2023年11月28日開示)

[https://www.hks-global.com/ir/others\\_doc/others\\_2024\\_03.pdf](https://www.hks-global.com/ir/others_doc/others_2024_03.pdf)

※1 当社は、上記開示において、配当性向を、2023年8月期 25.1%と同等の水準を維持することを目標としております。IR活動の拡充におきましては、同決算報告書を年2回の開示としたほか、新聞社等のプレスリリースに積極的に取り組みました。政策保有株式の縮減要請におきましては、主に金融機関や保険会社と、持合株式の売却に向けた協議を続けております。

# 10. 2024年8月期のトピックス



## TOPIX 人とくるまのテクノロジー展2024

当社は、人とくるまのテクノロジー展2024に出展し、開発中の新製品や新技術に関する発表・展示を行いました。

### 当社ブース(会場の様子)

今年は、EV用交換式バッテリーパック、ターボジェネレーター、先進ICE(内燃機関)技術、コネクテッドカーソリューション、カーボンブレース、全天候対応フルオート電子制御サスペンションシステム等について展示を行いました。

### 全天候対応フルオート電子制御サスペンションシステム(開発中)

市販用品業界で初となる、全天候対応型の電子制御サスペンションシステムを発表しました。全地球測位システム(GPS)で走行している道路を把握し、通信でクラウド上にある天候データと連携して雨や雪など、路面状況に適した減衰力に自動で調整するシステムです。



カーボンブレース  
(車体補強部品)



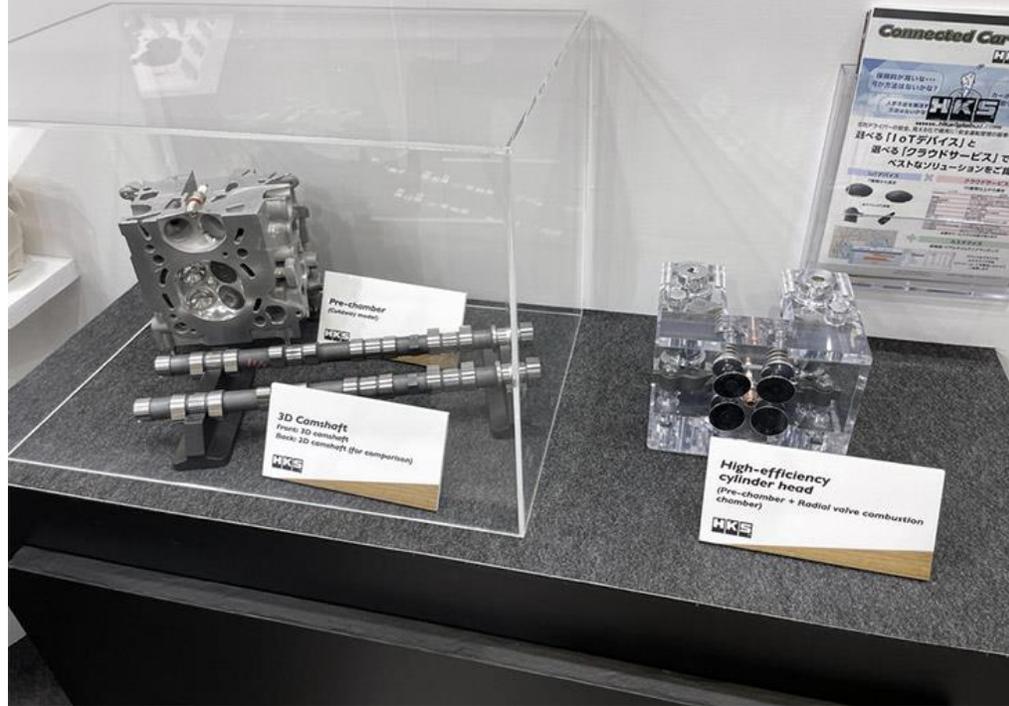
コネクテッドカーソリューション  
選べる「IoTデバイス」と選べる「クラウドサービス」について  
展示を行いました。



## 先進技術開発(内燃機関) ICE Technology

内燃機関分野における先進技術開発の取り組みとして、プレチャンバ(副室燃焼)と3Dカムシャフト(ラジアル(放射状)バルブ)について展示を行いました。

HKS カーボンニュートラルチャレンジ <https://youtu.be/uD2utZBzJXw>



ターボジェネレーター Gen.4

TOPIX ▶ コラボレーションブランド「HKSTUDIE」の発表

HKSとStudie AG、BMWのアフターマーケットに新ブランドを投入



当社と、日本屈指のBMW専門店である株式会社スタディ(本社:神奈川県横浜市、会長:鈴木康昭)はBMWのアフターパーツマーケットに新しい風を起こすために、コラボレーションブランドを発表致しました。両社は、BMWアフターパーツにおける新ブランド「HKSTUDIE(エッチケーエスタディ)」を立ち上げます。HKSのモノづくりのノウハウと、Studie AGのBMWカスタムの知見を組み合わせる事で、新たなマーケットを創造していきます。

# 10. 2024年8月期のトピックス



## TOPIX 当社のブランディング活動

当社は、東京オートサロンを含む世界各地の展示会で、デモカーや新製品を発表。また、全日本ダートトライアル選手権への出場を通じて当社の技術力をアピールし、ブランディングの強化と販促活動を精力的に行いました。

PRI SHOW アメリカ インディアナポリス  
モータースポーツ・レーシングパーツの展示会



SEMA SHOW アメリカ ラスベガス  
米国自動車用品工業会主催の、世界最大級の  
カスタマイズカーショー



GT SHOW 中国 蘇州市  
東京オートサロンに匹敵する規模で行われる、  
中国最大級のアフターパーツ系イベント

全日本ダートトライアル選手権への参戦  
昨年に引き続き、シリーズ参戦。  
2年連続でシリーズチャンピオンを獲得



## TOPIX タイ王国の連結子会社を1社化

タイ王国の連結子会社2社を合併、1社化し、  
経営基盤を強化。

当社は、当社グループ全体の経営基盤の有効活用と、業務の効率化・合理化による経営基盤の強化をはかるため、タイ王国の連結子会社であった当社マフラー製品の製造拠点、「HKS-IT Co., Ltd」と、同じくタイ王国の連結子会社で、当社製品のタイ王国、および周辺諸国への販売拠点であった「HKS(Thailand) Co., Ltd.」の2社を、「HKS-IT Co., Ltd」を存続会社とする吸収合併の手法にて1社化いたしました。

経営の効率化と、新商材上市へのスピードアップのために、当社がテーマとしております「製販技一貫体制」の強化を、タイ王国のグループ会社においても実践・実現してまいります。



### ①繰り返しの学びで習熟度を高め、従業員の力量アップにつなげる

従業員の力量向上を目指し、eラーニングや動画マニュアルを活用して習熟度を高める取り組みを進めてまいります。これに加え、職場環境の改善を図り、心から感謝の言葉を伝え合える文化の醸成にも努めてまいります。また、評価制度の改定を進めていくとともに、リクルーティングの質を高めるためにダイレクトリクルーティングやSNSを積極活用してまいります。

### ②さらなる品質向上に向け、社内体制を構築する

品質管理の強化に向け、品質不良を未然に防ぐ体制の構築を進めるとともに、発生した不具合に対しては迅速かつ的確に対処する仕組みの整備強化を図ります。各部門のTPM活動を促進し、その進捗を年次報告として全部署で共有してまいります。

### ③新規商品の早期展開で、お客様を笑顔にする

新規商品の早期展開でお客様を笑顔にすることを目標に、開発部門と営業部門が密に連携し、新商品の価値をより強力に伝えてまいります。開発部門では新規開発と量産後の対応を分業化し、開発効率を向上させてまいります。また、製造部門ではマフラー商材の生産技術を強化し、稼働率向上を図ってまいります。営業部門は、グローバルメディア展開を含む商材ごとの担当者選任体制の強化を進めてまいります。

### ④子会社との連携を強化し、新たなゾーンへ挑戦する

子会社との連携強化を通じ、新たな市場への挑戦を進めてまいります。米国、英国、中国、タイの各子会社との連携を強化し、現地での商材展開や事業計画の推進を加速してまいります。また、国内子会社である日生工業株式会社や株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリーとも協力し、エンジン部品の共同展開やカスタマイズ車両の拡販を進めてまいります。

### ⑤地域・社会貢献と、社会課題の解決に向けた取り組みを強化する

地域社会への貢献と社会課題の解決に向けた取り組みとして、Advanced Heritageコンセプトの推進やカーボンニュートラルを目指した商材の展開、バッテリーパック事業の成長、新規分野への進出を検討し、推進してまいります。地域との連携や工場見学の実施を通じて、当社の認知度向上にも取り組んでまいります。